

統合型データベース完成

焼津市全庁的な施設管理推進

オリコンサルら

オリエンタルコンサル

タンツは、焼津市、名古屋工業大学と共同で、全庁的な施設管理を推進する「統合型データベース」を完成させた。

14年度から統合型公共施設等データベースの開発に着手し、以降、実務レベルにおける課題整理と解決策の検討などを行い、機能の開発・強化を

進めてきた。

16年度は、建物系施設の効率的な情報の管理、更新、施設保全の計画的な推進、将来のまちづくりに資する行政機能の強化に取り組み、建物系施設を対象とした実運用に向けた「統合型データベース」が完成。17年4月から本格稼働を開始した。併せて、インフラの

維持管理業務を支援する「維持管理業務支援ICTツール」の試行運用と効果を検証した。

「統合型データベース」と「維持管理業務支援ICTツール」ともに、行政機能の強化や業務改善に資するもので、施設等の情報の構築・更新・活用に関する行政コストが半減されることが明らかとなった。今後、両システムは、全庁的な施設管理を推進するための基盤として運用する予定だ。